

■港南ドッグイヤーって!?

2006年11月16日に同級生(港南中学校第40期卒業生)の女の子4人が、USJ(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)に遊びに行ったことがはじまりでした。

USJからの帰りの船で、これからも仲間内でワイワイ楽しく遊べるグループ発足に先立ち、チーム名を決めようという話になり、当時、人気のあった某映画のタイトルをもじって「港南ドッグイヤー」と、命名しました。

決して成年だからと言う理由ではありません

せん(笑)

その映画に出てくる主人公たちの関係と、私たちの4人の関係がよく似ていたのです。

最初は、4人だった仲間も、同級生に声をかけていくうちに、10人、20人と徐々に増え、結成7年目の今、三十路記念で開催した同窓会

では125人集まりました。

■大好きな伊予市のために一肌脱ぐ

最初は、みんなでパーベキューしたり、飲み会したり、自分たちが楽しく遊ぶことが目的で集まっていたのですが、結成4年目の2010年あたりから、「こんなに沢山の人が集まってくれているのに、ただ遊んでいるだけじゃもったいない! 大好きな伊予市のために、何かやりたい! みんなで何か一つのことを成し遂げられないか?」と思うようになり、伊予市の一大イベントである夏の花火大会で「港南ドッグイヤーの名前で花火をあげてやろう!」という話があり、私たちの花火打ち上げ計画がスタートしました。

花火の協賛金を集めるために、まずは、イベントで募金を呼びかけました。次に、ただ募金を集めるだけというのも味気ないので、オリジナルのロゴ入りのタオルを100枚限定で製作し、仲間たちに販売した売上金を花火の協賛金に充てました。

このタオル販売がきっかけで、仲間内で同じものを持ち、仲間意識を高めてより一層強い団結力が得られ、ひとりひとりが「自分たちの力で伊予市のために!」という思いで、

活動を支えてくれるようになりました。

みんなの思いが一つになり、募金を集め始めてから約2年、忘れもしない2012年7月29日、私たちは、花火大会で伊予市の夜空に念願の花火を打ち上げることが出来ました!!

この時、あの花火が打ちあがった瞬間、一緒に頑張ってくれた仲間への感謝の気持ちと、私たちは、これからもまだまだ伊予市のために、様々なことをやれるのではないかと、という思いが込み上げてきました。

花火を打ち上げたことが、次第に巷に広がり、花火打ち上げ計画を知らなかった同級生たちも興味や関心を持ってくれ、「自分も協力したい!」と申し出てくれるようになり、とても嬉しかったです。この計画を立て、遂行できたことも、とても誇らしく思えました。



この4人からはじめました。
左から、松野小智子、永嶋明子、
岡田真弓、大森晃子

特集 ②

「わたしたちが流地域」の盛り上げ方

伊予市大好き十遊び 大好きII港南ドッグイヤー

港南ドッグイヤー 代表 永嶋 明子 (伊予市)



2012年7月29日 花火初協賛

オリジナルタオル



そして、来年もまた、みんなで伊予市の夜空に花火を打ち上げようと心に決め、募金活動を継続させ、2013年も雨は降りましたが、無事に2度目の港南ドッグイヤー花火を上げることが出来ました。

現在、2014年の花火大会に向け、更に活動を進めています。

■伊予市が好き

そもそも、この活動をやり始めたのは「伊予市が好き」の気持ちが強かったからです。ただただ伊予市が好き、ちょっと寂れた具合も好き、でも最近寂しすぎる気がします。私たちが子どもの頃は、もっと商店街も賑わっていて、道行く人々が、顔を知っていて気軽に「いつてらっしゃい」や「おかえり」の声をかけてくれていました。私たちはそんな温かい感じの伊予市が大好きでした。

都会ほどあれこれ便利なわけではないですが、不便すぎて困ることもなく、海も山もあり、自然が豊かで、住みやすい街だと思います。私たちは、これと言って特徴がないことが伊予市の特徴だと思っています。「伊予市ってなんかいいな」「なんか落ち着くな」という言葉を、みんなで集まる度によく耳にします。それを聞く度に、ドッグイヤーのみんなも、やっぱり伊予市が好きなんだな、だから協力も惜しまずしてくれるのだと実感します。

■だからこそ…

結婚し、子供を産み、子育て真最中の今昔とは少し変わった伊予市を、自分たちの子どもは、私たちと同じように「生まれ育った伊予市を好きだ」と思うだろうか？と考えたことがあります。

子どもたちに伊予市を好きになってほしい！好きになってもらうためには、まず、自分たちが、伊予市が好きだからこんな活動をしているんだという姿を見せるのが1番だと思えました。他にも、伊予市で、昔から行われている行事と一緒に参加し、積極的に地域に関わることで、人と人とのコミュニケーションの大切さや人の心の温かさに触れる機会を増やしてあげられたいなと考えています。



港南中学校第40期生 三十路同窓会 平成25年8月14日

また、これまででの活動を通して、今まであまり興味なかった伊予市の市政などにも興味湧き、選挙も自分の思いを託せる人に投票するようになりまして。集まりでも、楽しく

わいわい話すだけでなく、伊予市のこれからや、どうあつてほしいか、要望など意見が飛び交うこともあります。

お酒の席だからこそ出る本音、熱い思いを心にとどめておき、今後の活動の方針を決める糧とし、私たちがなりに伊予市を盛り上げていきたいと考えています。

■これからの港南ドッグイヤー

この私たち独特のゆるい感じを保ちつつ、気負いすぎず、真面目なのか不真面目なのか曖昧ですが、イベントを楽しみながら、少しずつでも、伊予市の人たちに私たちのやっている活動を知ってもらい、「このぐらゐの活動なら自分たちにもできるんじゃないか」「ドッグイヤーメンバーではないけど自分も参加してみたい」なんて思ってもらえたら幸いです。

そして、伊予市民ひとりひとりが「伊予市ってなんかいいな」「この街を守っていきたいな」と思ってくれるようになる日が来るように願いつつ、今後も微力ながら、伊予市を盛り上げる活動を続けていきたいです。現在の活動は、「私たちが楽しい、嬉しい」がメインですが、今後は、「周りの人たちも共有できる」「楽しい、嬉しい」に変えていきたいと思えます。もちろん「私たちが楽しい、嬉しい」のは、大前提ですが…(笑)



花火協賛募金箱